

【 第3回中標津町自治推進会議報告 】

日 時：令和3年10月11日（月）19:00～21:00

場 所：中標津町役場 3階 301会議室

出席者：11名

（中標津町自治推進会議委員5名、ファシリテーター1名、事務局5名）

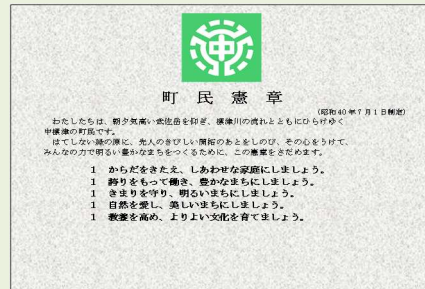
<会議次第>

1 開 会

2 挨 拶

3 議 題

町民憲章 唱和



- （1）答申書について
- （2）解説書の見直し検討について
- （3）自治の検証方法について
- （4）その他

4 閉 会

<配付資料>

- ①令和3年度第3回自治推進会議次第〔省略〕
- ②広報9月号の写し〔省略〕
- ③条例見直しに関する答申にあたり前文（案）〔省略〕
- ④条例見直しに関する答申書（案）〔省略〕
- ⑤中標津町における自治と協働の歩み一覧〔省略〕
- ⑥令和3年度カレンダー〔省略〕

<会議結果報告>

1 開 会

2 挨 拶：佐々木会長

3 議 題

〔進行：東田ファシリテーター〕



〇事務局からの報告

事務局

1点目は第7期中標津町総合計画についてである。9月28日に中標津町議会の臨時会が開催され議決を受けた。前回会議でご説明した通り「総合発展計画」から「総合計画」へ名称を変更させていただき、自治基本条例の中で引用している「総合発展計画」の名称を「総合計画」に改める条例改正についても同時に行い、そちらも議決を受けたことから、今後町の例規集においても情報が反映され、第7条第1項第4号が「総合計画」に置き換わった形でみなさんにお示しすることとなるためご承知おきたい。

2点目は広報誌による自治基本条例の紹介についてである。9月号から自治推進会議の様子を掲載しており、11月号は答申書の内容に関する掲載を予定している。

(1) 答申書について

東田ファシリテーター

鑑文書と答申書の案を確認いただき、内容を確定したい。

委員

字をもう少し大きくした方が良いと思う。

事務局

調整する。

委員

今回は答申書だけで鑑文書は作成していなかった。

東田ファシリテーター

この4、5年間は自主勉強会も行い、きちんと自治や自治基本条例について考えられた年だったと感じる。

では、答申の日程を決めたい。対応者は会長と副会長になると思うが問題はないか。→【委員から異議なし】

事務局

可能であれば日程は10月の26日、27日、28日、29日で調整をお願いしたい。

会長・副会長

26日がよい。

事務局

26日16時から会長、副会長に対応願いたい。

答申について

・日程：10月26日（火） 16時～

・対応者：会長・副会長

（２）解説書の見直し検討について

東田ファシリテーター

今までに直した方がよいと意見が出ていた所を、年度末までに誰がどんな風に直すか具体的な作業について考えたい。進め方について意見はないか。

委員

事務局に洗い出しと例の作成までの作業をお願いし、その後メールで発信してもらうのが一番早いと思う。

委員

過去の資料で必ず直さなければならない箇所をまとめたものと、自主勉協会が出た意見をまとめたものの２種類があったはず。

事務局

議会からいただいた修正要望箇所を一覧にしたもの（中標津町議会「議会改革特別委員会」からの中標津町自治基本条例解説書の一部修正要望箇所新旧対照表）と、条例改正の見直しを行った際に一条ずつ皆さんからのコメントが入ったもの（条例改正に関する意見等一覧表）がある。

委員

事務局に２種類を合体させた一覧表を作成してもらい、全員で洗い出すのはどうだろう。

東田ファシリテーター

今月中に事務局より一覧表を作成、共有してもらい、その後学習会という形で確認作業を行おう。では、その洗い出す作業をいつ行うか。

事務局

公式会議は残り２回の開催を予定しており、最後の１回は３月に対面で行いたいと考えているが、状況次第ではリモート開催の可能性もある。

委員

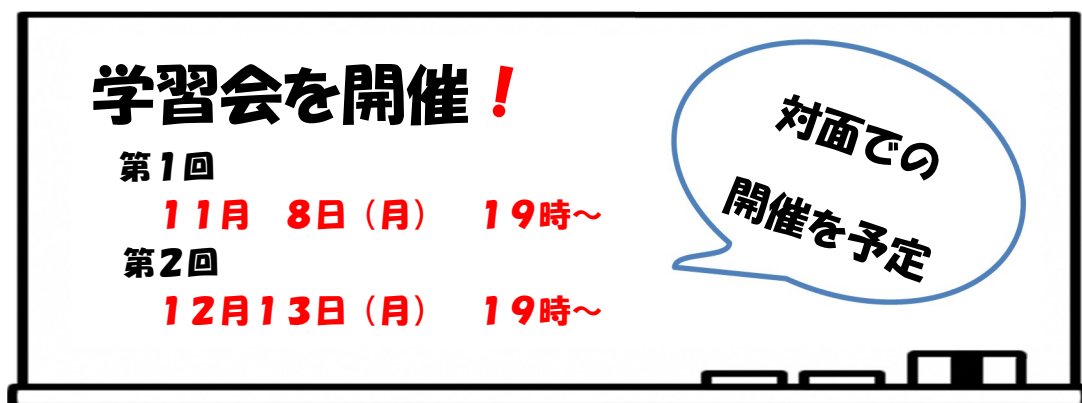
年越し前に確認作業を行うのがよいと思う。

委員

11月8日、12月13日の19時から対面で行おう。

委員

この学習会の中で公式会議の日程も調整しよう。



東田ファシリテーター

話は変わるが、配布資料の「中標津町における自治と協働の歩み一覧」をご覧いただきたい。静岡県牧之原市ではファシリテーターが市民参加と協働のあゆみをイラスト化したものをよく使用しており、解説書の見直しにあたり中標津町の自治や協働の歩みもイラスト化できたらと考え、まずはベースとなる年表を作成してみた。右側は町民側、左側は行政側の動きを記載しており、肉付けするために事務局と委員の皆様から追加したい箇所があれば教えていただきたい。年表が出来上がってから誰がどれを書くかなど議論していきたい。

委員

町民会議など、公募で町民が集まって参加しているというのをもっと反映させたい。

東田ファシリテーター

他にも追加したい箇所があればご意見願いたい。流れが広がっていくように作成していきたいと思う。

(3) 自治の検証方法について

東田ファシリテーター

まずは自治の検証方法をどういう風に進めていくかを考えていきたい。

委員

他の自治体の事例等から検証方法になりそうなものを紹介する。

○まちづくり町民アンケートの前年度の比較から経年変化で比較

自治が進んでいるということがわかりやすい。

○IIHOE「ソシオ・マネジメント Vol.6」を委員全員で読む

島根県雲南市では地域が一緒になって進めていく小規模多機能自治という取り組みがあり、中学生以上全住民調査では重要度と満足度の差を比較している。また、町内会の目標と現状の調査を行い、各調査項目の初年度、5年後で変化を比較している。今後中標津町でも全町連と連携し、各町内会で行っている行事等の目標と現状を調査させてもらい、次期以降も初年度と最後の年を比較して上がっているかどうかというのを検証の仕方として話し合い、今後に残していくのはどうだろう。

○協働が進まない5つの理由の逆を実施

新潟NPO協会第5回協働環境調査報告会「協働力パワーアップセミナー」より IIHOE 代表者の川北秀人さんが講演の中で話していた協働が進まない5つの理由というものがあり、その逆を作れば協働が進むのではないか。それが自治推進会議として実施できているかどうかで評価していく。

協働が進まない5つの理由

- ① 目標と計画がない
- ② 流れもルールも決まっていない
- ③ 推進するツールや体制がない
- ④ 評価・監査されていない
- ⑤ NPOが協働していない

他に、自治基本条例を定めている各自治体でどういう評価をしてきたか、条例の検証についてネットで公表されていたものを抜粋したので紹介する。

○川崎市



現在どういう評価をしているのかについて「条例等で制度的に担保されているもの」と「新たな制度設計が必要なもの」に分けて考える必要があるとしており、そのためには自治基本条例の実効性を担保する制度の検証作業、個別の条例との照合、既存の条例の総合化、昇格すべき条例の抽出作業が必要と書かれていた。

今後の課題では、

- ・基本条例に盛り込む事項の制度的担保

自治体の制度として担保されていない部分についても、規定として盛り込むことが必要であり『中間領域』をもう少し勉強していくのがよいのではというもの。今の時点では見えない部分もこの先の5年で見えてくるかもしれない。

- ・市民のルールとしての基本条例

「市民が行政に信託する」ことを規定するだけでなく、「市民が市民に信託（契約）する」という『市民間の協働のルール』を規定できれば画期的というもの。今後は町民同士の約束事を考えていかなければならないかもしれない。

○苫小牧市

提言に情報公開や高齢者の情報弱者等のことについて書かれていた。情報に関する内容が多いかなと思う。

○明石市

- ・情報共有における各取り組みの費用対効果を検証

チラシを配布しどれだけ効果があったかで検証しており、中標津町ではこういった検証はまだ実践していないため、新たな方法を考えることが評価になるかなと思う。

- ・過剰な規制を行うのではなく、地域の防災活動やコミュニティ活動において活用できるように、活用と保護の両面から、情報の取り扱いを考える事が大切である。

これから自治を進めていくにあたって情報の取り扱いが適切かどうかというのを考えていけないといけない。

- ・個人情報保護をしないと安心して情報公開ができないので、個人情報保護制度と情報公開制度は一体的に考えていけないといけない。

個人情報の保護と、町の人たちの命を守るための情報公開について線引きや約束事などが必要というのを自治推進会議で話していく可能性もあるかなと思った。

委員

町民アンケートだと、過去から振り返っていき数字でわかれば自治推進会議が理解されているなど様々な団体の活動が広がっているなどわかりやすい。あとは費用対効果などが気になる。

委員

他の自治体では色々な事例があるので参考にしながら進めていきたい。しかし、いきなり新しいことを始めても結果に響かないと思うのでアンケートでやっていくしかないのではないかな。

委員

アンケートの中に町民参加や協働に関する問いかけがあるのでそれを1つの指標として考えられるかもしれない。あとは情報共有の部分で、発信されたものがどれだけ町民に浸透したかについても1つの指標の作り方としてあるのではないかな。これらを踏まえるとアンケートでやるしかないと思う。協働、町民参加、情報共有の3つのキーワードで指標を作っていくのはどうだろう。

委員

アンケートの対象者や部数などが課題になるのではと思う。

委員

団体に配布すれば回収率は上がると思うが結果が偏る。

委員

中学生や高校生に配付するのはどうだろう。

東田ファシリテーター

今回の意見交換はここまでにしよう。次期自治推進会議メンバーがスムーズに議論を始められるように議事録を渡したいと考えている。参考になるような意見交換を次回も引き続き行っていきたい。

委員

子供版の解説書はどうするのか。

委員

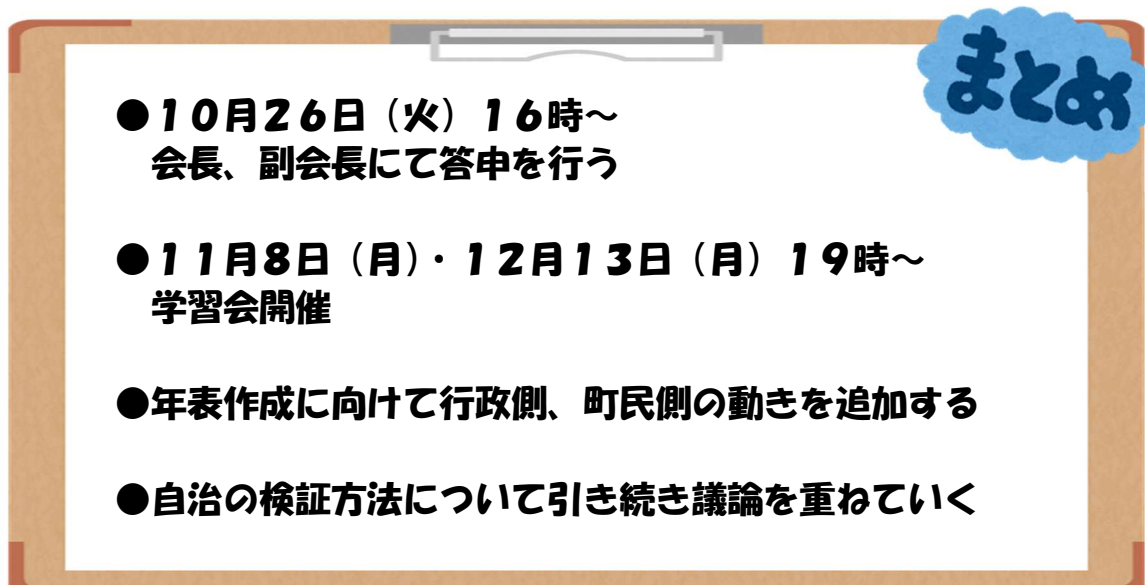
子供版の参考になればと思い愛知県の日進市、長野県の上田市、埼玉県の手田市の漫画版を印刷してきた。やはり漫画にするとわかりやすいし、つつい見してしまう。四コマ漫画だと広報に載せられる。

委員

四コマ漫画を作成していき5年後に全てまとめるのがよいのではないか。

東田ファシリテーター

まずは大人版の解説書を作成してから検討することにしよう。その後に今期から作業を始めるのか、次期に引き渡すのかという議論になるかと思う。



●10月26日（火）16時～
会長、副会長にて答申を行う

●11月8日（月）・12月13日（月）19時～
学習会開催

●年表作成に向けて行政側、町民側の動きを追加する

●自治の検証方法について引き続き議論を重ねていく

(4) その他

事務局

次回の公式会議の日程については１１月８日、１２月１３日の学習会の中で決めたいと思います。また、１０月２６日の１６時から答申を行いますので会長、副会長はご対応よろしくをお願いします。答申の中に条例改正の項目が含まれているため１２月の定例会でこの条例改正を提案する予定となっておりますのでご承知おき願いたい。

閉 会